

常進NEWS (11月号)

本を楽しもう

10月27日から11月9日は読書週間でしたが、皆さんはこの間に何冊の本を読みましたか。もしかしたら、1冊でも本を読みましたかと、問わねばならない人もいるのでしょうか。

全国学校図書館協議会が毎年行っている学校読書調査によると、小学生が今年の5月1か月間に読んだ本の冊数は13.2冊でした。これは過去30年間で最高で、30年前のおよそ2倍のほります。子どもの活字離れが懸念される中でのこの結果は、多くの学校で取り組まれるようになった朝読書の影響が大きいのではないかとみられています。

とはいえ、保護者面談時に「本を読ませたいんですけど、読まないんですよ」と、嘆息をもらして帰る方が減ったようには思えません。そこで今回は、本との向き合い方を考えてみます。

まずは読書の効能

文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査(学テ)では、読書をする生徒・児童の成績が読書をしない生徒よりも優れているということが示されています。今春の小6生の場合、正答率が最も高かった「1日の読書時間が1～2時間」のグループと、「全くしない(表) 読書時間ごとの正答率(学テより)

グループ	国語	算数	理科
1時間以上2時間未満	70.8	66.6	67.6
全くしない	59.7	58.8	57.9

また、読書量が多い人ほど年収が高くなるというようなデータもあります。2009年に出版文化産業事業財団が行った「現代人の読書実態調査」によると、1か月に本を3冊以上読む人の世帯年収は、1500万円以上が40.5%で最多で、最少は300万円以上500万円未満の22.6%でした。これに対し、「0冊」と回答した人の世帯収入は、300万円以上500万円未満が28.2%で最多で、1500万円以上は9.5%で最少でした。このほか、総務省が2020年に行った「家計調査」でも、年収と、家計における1か月の平均書籍費は、正比例するという結果が得られています。

親が本を楽しむ

さて、それでは子どもに本を読ませるにはどうすればよいでしょうか。「読みなさい」と言う、ためになりそうな本を買い与えるなどは、逆効果です。自ら「本を読みたい」と思わなければ、子どもは本を読みません。

では子どもに読書をさせたい親ができることは何か。それは自らが本を読む姿を見せることです。この際、子どもに読ませるためなどとは考えないでください。子どもはそういう親の意図を敏

感に察知します。下心は抱かず、親が純粹に読書を楽しめばいいのです。親が楽しそうに本を読んでいると、子どもも興味をそえられるのではないのでしょうか。

映画は原作本とセットで

親子そろっての読書への入り口として、私のおすすめは、映画の原作本です。映画を見て面白いと思ったら、その原作本も読んでみるのはどうでしょうか。「あのシーンは、こういうことだったのか」など、ストーリーを知っていても新しい発見があります。

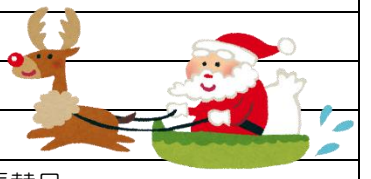
本を読める人であれば、原作本を読んでから映画を見に行くというのがあります。かつては原作の面白さを台無しにしてしまう映画がたくさんありましたが、今は映画の制作技術が格段に向上し、原作を読んだ後でも楽しめます。

先日、新海誠監督の映画「すずめの戸締り」が公開されました。新海監督は映画制作と小説執筆を同時進行するという離れ業をやっている方で、小説のほうは映画公開よりも早い8月に発売されました。私は小説を読んだ後に、映画を見ましたが、「あの出来事は、このシーンへの伏線だったのか」など、ストーリーを知っていても十分に楽しめました。

次の場面はいったいどうなるのかというワクワク感を味わいたい人は後読み、伏線回収など細かい点も見逃したくない人は、先読みがいいのではないのでしょうか。映画の後の本、本の後の映画、どちらにせよきっと新しい発見があります。映画は原作本とセットで。おすすめします。

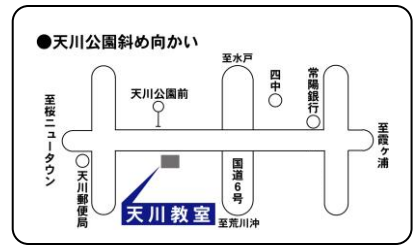
11・12月の予定

月	日	曜	行事予定
11月	23	水	統一テスト(8年生) 通常授業休講(勤労感謝の日)
	26	土	総合入試対策ゼミ⑤
	27	日	統一テスト(7・9年生)
	28	月	12月分授業料等口座振替日
12月	3	土	総合入試対策ゼミ⑥
	10	土	総合入試対策ゼミ⑦
	16	金	お知らせ配布
	17	土	総合入試対策ゼミ⑧
	23	金	2学期終了
	25	日	冬期講習開始
	27	火	1月分授業料等口座振替日
	30	金	休校日
	31	土	休校日



めんどろみ 地域ナンバーワン宣言!

JOYO **常陽進研** ☎824-9136



思考力の九九

バチバチやん

思考力の九九、10月の暗唱は15枚。覚える枚数は多いものの「歴史の時代」や「干支」など長い文章ではないので子どもたちはできるものから進めていきます。最大の難関が「東海道五十三次 宿場町」のようで、ほとんどの子が最後にやろうとします。

小5のSくんが、最後の暗唱「東海道五十三次」に入り練習していると、小4のMちゃんの練習する声が聞こえてきたようで、SくんはMちゃんに「どこまで進んでる？」と進行状況を確認しています。Sくんが僅差でリード。「負けない。家で覚えてきて終わらせる！」と意欲を見せています。小6のHちゃん、その様子を見て「バチバチやん」とチャチャをいれます。勝手にライバル視されたMちゃんは「暗唱は自分のペースでやるんだよ」と言い、淡々と進めます。翌週、小6のHちゃんが「私もバチバチの仲間入りする」と楽しそうに言って「東海道五十三次」の暗唱に入りました。



以前は子どもたち同士で暗唱を聞き合ったり、競争したりしていましたが、コロナ禍になってから極力子ども同士を近づけないようにしてきたため、このような競争がなくなっていました。久しぶりの競争に、暗唱を聞く立場の私も結果はどうなるのかと楽しんでいました。

そして結果は…。その週に三人とも暗唱を終えたので「引き分け」。全ての暗唱が終わった三人は何事もなかったかのように、中学生がやっている暗唱「平家物語」を受け取って覚えていました。

がんばりました！

名文暗誦 (10月の課題：覚えよう！)

- 15枚 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○
- 14枚 ○○ ○○
- 13枚 ○○ ○○
- 12枚 ○○ ○○ ○○ ○○○
- 10枚 ○○ ○○
- 9枚 ○○ ○○



月食を観察



11月8日は皆既月食がみられる日でした。その日は7年生と、9年生2クラスの授業日でした。

9年生のBクラスの教室は東に面しているため、窓を開けて観察できます。Aクラスと7年生は、休み時間のたびに外に出て観察しました。7年生は外に出て月食の様子をスマホのカメラに収める生徒がいるいっぽうで、興味なしと言わんばかりに、休み時間になると寝に入る生徒も。多くの人が楽しんだ天体ショーなのに、この態度はちょっと残念。

9年生の理科の授業は、ちょうど月食のところであったため、絶妙のタイミングです。全員が月を見上げ、「あっ、赤い」など、口々に感想を述べ合っています。おかげで翌週に実施した確認テストの出来は、いつもよりよかったような気がします。

統一テスト・進研テスト成績上位者

9年生

英語	数学	国語
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○
2位 ○○○○	1位 ○○ ○○	2位 ○○○○
3位 ○○ ○○	3位 ○○ ○○	3位 ○○○○
理科	社会	<実施日> 10月8日(土)
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	
2位 ○○ ○○	2位 ○○ ○○	
3位 ○○○○	2位 ○○○○	

小学生

小6算数	小5算数	小4算数
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	1位 ○○○○
小6国語	小5国語	小4国語
1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○	1位 ○○ ○○

演習授業は楽しい？

8年生の演習授業において、一部の生徒が大苦戦を強いられています。理解することよりも、課題を終わらせることに全力投球するため、再テストを受けてもまた不合格。再テストは合格するまで終わりになりませんので、演習課題はいつになっても減りません。生徒ごとの演習課題を入れたクリアファイルを見せ、「合格しないとこれは減らないんだよ」と言っても、どこ吹く風。まるで居残りを楽しんでいるかのようです。

いっぽうで9年生の演習授業。課題が終わらず延長戦に入ります。理系の演習時、解けない問題があると質問するために監督(採点)をしている私の元に来て「先生、有賀先生どこ？」と言い、生徒たちは有賀先生を探し回ります。シャーペンと消しゴムとプリントを持って階段をバタバタ走る音が聞こえます。数分後、「わかった」と言って、息を切らして戻ってきます。生徒たちを尻目に「運動不足の受験生には良い運動だ」と呑気に思っています。「理系の演習イヤだー」と言いながらも、楽しそうに見えるのは、気のせいでしょうか。

9年生はようやく受験生らしくなってきました。学校帰りに寄って自習していく生徒あり。授業終了後、11時ギリギリまで残って自習する生徒あり。日曜日の午前中、勉強したいから自習室を開けてくれという生徒あり。今年もあと1ヶ月とちょっと。年が明ければ受験が始まります。目標に向けて頑張れ！

冬期講習概要

学年	日程	時間帯	講習料
小1～4生	12/26～29・1/4～6	10:00～11:40	5,500円
小5・6生	上記より任意の4日	17:00～18:40	
7・8年生	12/26～29, 1/4～6	19:10～21:35	19,800円
9年生	12/25～29, 1/4～6	13:00～16:35	33,000円

<統一テスト> 7・8年生…1/8(日)、9年生…1/7(土)

